

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

Bulletin of the National Museum of Ethnology Vol. 7No. 1; Cover, Contents, and others

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-02-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009246

1982・3 7.1 卷1号

国立民族学博物館 研究報告



トレス海峡地域の集落と住居———杉本尚次

客家文化考——衣・食・住・山歌を中心に———周達生

チャプルのイシル語歌謡———馬淵卯三郎・八杉佳穂

**Systematic Classification of the Pit Dwellings
of Modern Food-gatherers from an Ecological
Point of View———WATANABE, Hitoshi**



国立民族学博物館

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園 TEL. 06-876-2151

国立民族学博物館研究報告

7 卷 1 号

1982年3月

目 次

トレス海峡地域の集落と住居	杉本 尚次	1
客家文化考 —衣・食・住・山歌を中心に—	周 達生	58
チャフルのイシル語歌謡	馬淵卯三郎 八杉 佳穂	139
Systematic Classification of the Pit Dwellings of Modern Food-gatherers from an Ecological Point of View	WATANABE, Hitoshi	169
彙 報		191
国立民族学博物館研究報告寄稿要項		193
国立民族学博物館研究報告執筆要領		194

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

Vol. 7 No. 1

March 1982

SUGIMOTO, Hisatsugu	Villages and Dwelling Houses in the Torres Strait Region	1
ZHOU, Dasheng	Hakka Culture, with Special Reference to the Material Culture in Mei Prefectural District and Longyan District, People's Republic of China	58
MABUCHI, Usaburo YASUGI, Yoshiho	Some Ixilic Songs in Chajul, Quiché, Guatemala...	139
WATANABE, Hitoshi	Systematic Classification of the Pit Dwellings of Modern Food-gatherers from an Ecological Point of View	169

彙 報

(昭和56年10月～
昭和56年12月)

人事異動

電子計算機運営委員会委員

氏名	任期
及川 昭文	(56. 3.16～58. 3.15)
大林 太良	(56. 3.16～58. 3.15)
国井 利泰	(56. 3.16～56. 3.15)
田中 琢	(56. 3.16～58. 3.15)
辻 三郎	(56. 3.16～58. 3.15)
長尾 眞	(56. 3.16～58. 3.15)

中山 和彦	(56. 3.16～58. 3.15)
星 仰	(56.11.16～58.11.15)
山中 光一	(56. 3.16～58. 3.15)
吉田 将	(56. 3.16～58. 3.15)
佐々木高明	(54. 2. 1～)
中村俊亀智	(56. 3.16～58. 3.15)
大給 近達	(56. 3.16～58. 3.15)
栗田 靖之	(56. 3.16～58. 3.15)
小山 修三	(56. 3.16～58. 3.15)
杉田 繁治	(56. 3.16～58. 3.15)
藤井 知昭	(56. 3.16～58. 3.15)
木村 誠	(54. 4. 1～)

海外における研究・調査・収集活動

氏名	官職	出発	帰国	行先
井狩 彌介	助教授(第2研究部)	56.10. 1	56.11.22	インド, スリランカ
加藤 九祚	教授(第4研究部)	56.10. 6	56.10.20	中華人民共和国
佐々木高明	教授(第2研究部)	56.10. 7	56.10.18	ブータン, インド
栗田 靖之	助教授(第2研究部)	56.10. 7	56.10.18	ブータン, インド
梅棹 忠夫	館長	56.10. 7	56.10.29	オーストラリア
杉村 棟	助教授(第2研究部)	56.10.10	56.11.18	南イエメン, エジプト, シリア, フランス, 連合王国, ヨルダン
藤井 知昭	教授(第2研究部)	56.10.12	56.10.20	中華人民共和国
大丸 弘	助教授(第5研究部)	56.10.12	56.10.31	中華人民共和国, 香港
周 達生	外国人研究員 (第1研究部)	56.10.12	56.11.11	中華人民共和国
伊東 一郎	助手(第3研究部)	56.10.26	56.12.17	オーストリア, ユーゴスラビア, ギリシャ
藤井 知昭	教授(第2研究部)	56.10.26	56.10.29	香港
梅棹 忠夫	館長	56.11.16	56.12. 6	ソビエト社会主義共和国連邦
加藤 九祚	教授(第2研究部)	56.11.16	56.12. 6	ソビエト社会主義共和国連邦
君島 久子	教授(第1研究部)	56.11.18	56.12.14	中華人民共和国
祖父江孝男	教授(第1研究部)	56.11.19	56.12. 2	大韓民国
大給 近達	教授(第4研究部)	56.11.24	57. 9.23	ブラジル, パラグアイ
黒田 悦子	助教授(第4研究部)	56.12. 1	57. 9.30	スペイン
江口 一久	助教授(第3研究部)	56.12. 9	56.12.22	フランス, 連合王国
杉田 繁治	助教授(第5研究部)	56.12. 9	56.12.22	フランス, 連合王国
栗田 靖之	助教授(第2研究部)	56.12.12	57. 1.22	フィジー
須藤 健一	助手(第4研究部)	56.12.12	57. 1.22	フィジー
吉田 集而	助教授(第2研究部)	56.12.14	57. 1.22	インド, ネパール

来館者抄

- 10月1日 鄧 銳 齡 (中華人民共和国・中国社会科学院民族研究所副研究員)
- 2日 趙 成 鈺 (大韓民国・韓国学術振興財団理事長)
金 鐘 興 (同 総務部長)
- 9日 Dietrich RANFT (ドイツ連邦共和国・マックスプランクゲゼルシャフト事務総長)
Dietmar NICKEL (同 事務主任)
- 12日 池田 芳次 (和歌山大学長)
- 14日 Mochtar LUBIS (インドネシア共和国・作家)
- 15日 Peter FETCHKO (アメリカ合衆国・ピーボディ博物館長)
John THAYER (同 広報部長)
- 11月1日 ジャグラルイン・ツェグミド (モンゴル人民共和国・科学アカデミー副総裁)
ドヨデン・アルマース (モンゴル人民共和国・モンゴル日本協会事務局長)
- 5日 René SIEFFERT (フランス共和国・パリ第三大学教授・東洋言語文化研究所・日本学研究所長)
大橋 保夫 (京都大学教授教養部)
Sune K. ZACHRISSON (スウェーデン王国・北欧博物館長)
Inger ZACHRISSON (スウェーデン王国・ストックホルム考古物博物館キュレーター)

- 飯沼 二郎 (京都大学名誉教授)
- 13日 李 滔 (中華人民共和国・教育部外事局長)
張 酉 水 (同 科学技術局計画処副処長)
譚 東 農 (同 高等教育一司文科教育処副処長)
王 蘊 忠 (同 外事局総合交流処副処長)
- 17日 山本 勝造 (ブラジル連邦共和国・サンパウロ人文科学研究所理事長)
- 20日 中国社会科学院訪日代表团
張 友 漁 (団 長)
楊 克 (副団長)
朱 人 俊
密 加 凡
錢 丹 輝
段 鎮 坤
薛 家 驥
高 騫
張 国 維
凌 星 光
王 保 樹
何 培 忠
- 26日 Carlos Ponce Sanginés (ボリビア共和国・ボリビア国立考古学院長)
Jose Matos Mar. (ペルー共和国・ペルー人類問題研究所長)
Rosalia Avalos de Matos (ペルー共和国・ペルー国立民族学博物館長)

国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は、民族学（文化人類学）に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織、運営に関与する者
 - (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - (3) その他本館において適当と認められた者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は、原則として論文及び資料・研究ノートを1段組、その他のものを2段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし、その他の言語を用いる場合は、編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で、日本語を使用する場合は、原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし、その他の言語による論文の場合は、編集委員会に相談するものとする。なお、寄稿する原稿については、執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、編集する場合は編集委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書（欧文の場合はタイプ）し、原稿の写し1部を添付するものとする。なお、図、表のスマ入れ、レタリングは、編集委員会で処理する。
9. 寄稿された原稿は、審査委員会において審査のうえ、採否を決定する。なお、原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当っては、別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は、次のとおりとする。

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園10-1
国立民族学博物館内
国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表 06-876-2151）

国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は、200字詰原稿用紙を使用し、横書きとする。
2. 原稿は、図、表を除き、原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は、原則として当用漢字、現代かなづかいを用いる。
4. 句読点、括弧、各種記号等は、原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号、月日及びその他の数字は、原則としてアラビア数字を用いる。なお、年号は、原則として西暦とする。
6. 図及び表は、一図、一表ごとに別紙に書き、本文とは別に一括して添付するものとする。なお、図、表ごとに通し番号（「図1」、「表1」等の要領により記入）、図、表名及び説明並びに出典等を記し、本文原稿の欄外には、それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は、写りの明瞭なもので、手札判以上の大きさに焼き付けたものに限り、図及び表の扱いに準じて通し番号、説明を付けたうえ、そう入箇所を指定するものとする。ただし、カラー写真は、原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は、カギ括弧を付け、著者名、文献刊行年次、引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。

[柳田 1942: 67-69]

[Leach 1961: 123]

[柳田 1942: 67-69, 1944: 20-22; Leach 1961: 123]

ただし、同年次刊行物の場合は、アルファベット順により、下記のように記載するものとする。

[柳田 1942a: 20-22] [柳田 1942b: 10]

9. 脚注は、一つ一つ別紙に記し、通し番号を付ける。なお、本文中に脚注をそう入する箇所には、脚注の当該番号を記入し、別紙の脚注には、本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は、すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。
 - (1) 文献の配列は、著者名のアルファベット順とすること。
 - (2) 文献の記載は、著者名、年号、論題（タイトル）、誌名、巻、号、出版社名の順とすること。欧文の雑誌名及び単行本名は、イタリック体にするため、原稿には下線を引くこと。また、ローマ字人名は、スモール・キャピタルとするため、二重下線を引き、日本文の場合は、論題にカギ括弧、雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は、原則としてアラビア数字を用いること。

(例)

論文の場合 (1)

石田英一郎

1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』 13(4): 311-330.

Bohannan, P.

1973 Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist. Current Anthropology 14(4): 357-372.

論文の場合 (2)

杉浦 健一

1942 「民間信仰の話」 柳田国男編『日本民俗学研究』 岩波書店, pp. 117-143.

Leach, Edmund

- 1964 Anthropological Aspects of Language: Animal Categories and Verbal Abuse.
In Eric H. Lenneberg (ed.), New Directions in the Study of Language,
The M. I. T. Press, pp. 23-63.

単行本の場合

泉 靖一

- 1966 『文明をもった生物』 日本放送出版協会。

Murdock, George P. (ed.)

- 1960 Social Structure in Southeast Asia. Viking Fund Publications in Anthropology No. 29, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc.

翻訳書の場合

エリアーデ, M.

- 1974 『シャーマニズム——古代的エクスタシー技術——』 堀 一郎訳 冬樹社。

van Gennep, Arnold

- 1960 The Rites of Passage. M. B. Vizedom and G. L. Caffee, trans., The University of Chicago Press.

国立民族学博物館研究報告 7 卷 1 号

監 修
梅 棹 忠 夫
編集委員長
伊 藤 幹 治
編 集 委 員
石 森 秀 三
煎 本 孝 子
片 倉 素 子
竹 村 卓 二
垂 水 稔
松 原 正 毅
吉 田 集 而

昭和 57 年 3 月 31 日 発 行 非 売 品

国立民族学博物館研究報告 7 卷 1 号

編集・発行 国立民族学博物館
〒565 吹田市千里万博公園 10-1
TEL 06 (876) 2151 (代表)

印 刷 中西印刷株式会社
〒602 京都市上京区下立売通小川東入
TEL 075 (441) 3155 (代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology

vol.7 no.1

March 1982

- SUGIMOTO, Hisatsugu** Villages and Dwelling Houses in the Torres Strait Region
- ZHOU, Dasheng** Hakka Culture, with Special Reference to the Material Culture in Mei Prefectural District and Longyan District, People's Republic of China
- MABUCHI, Usaburo** Some Ixilic Songs in Chajul, Quiché, Guatemala
- YASUGI, Yoshiho**
- WATANABE, Hitoshi** Systematic Classification of the Pit Dwellings of Modern Food-gatherers from an Ecological Point of View



National Museum
of Ethnology

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan
phone 06-876-2151

ISSN 0385-180X